

23日開催の臨時議会に  
ネットワーク野洲が

## 市民の声を制限し、民主主義を否定する

# 議員定数削減を提案へ



23日に臨時市議会が開催されます。臨時会では、「ネットワーク野洲」議員団が、市議会定数を現行の24名を18名にする条例案を提案するとしています。

本来、議員は、市民の要求を市政に反映すること、市政を市民の立場チェックする重要な役割があります。定数削減は、この役割を否定し民主主義を否定するものです。

# 市民の期待に応える議員の役割の発揮こそ

ネットワーク野洲の定数削減の主張は、今日の市財政に対して、「市財源の有効活用、無駄の排除が必要」。そのためには、「行財政改革」議員定数削減を行い、市民に範を示す」というものです。

## 議員の役割と市民の声を否定するもの

野洲市の現議員定数は24名です。合併前は34名(中主町14名、野洲町20名)でした。それを合併で24名に削減。次回改選

では22名と決められています。

それを18名にすると言うものですが、議員の役割は、市民の要求を市政に反映すること。市政を市民の立場でチェックすることです。この本来の役割を否定する定数の削減は、市民の声を制限する民主主義否定の行為です。

## 「市民に範を示す」というなら市民の立場で議員活動を

「市民に改革の範を示す」「(財政の)無駄を排除」というならば、

議員自身が議員としての役割を發揮することです。

いま多くの市民は、「無駄で必要ない新幹線新駅への負担はやめるべき。大切な税金は市民の暮らし優先に」という声が多数です。この市民の声に応え、市政をチェックすることこそが「改革」であり、「無駄の排除」です。

加えて新市における行政課題や市民要望は多様です。この市民の期待に応える議員活動が求められているのではないのでしょうか。

## 市長・議員など、報酬大幅な値上げ 市民感覚からかけ離れています

	現行	値上案
市長	788000	812000
助役	700000	721000
収入役	642000	661000
議長	384000	430000
副議長	303000	380000
議員	260000	350000

単位 = 円、月額

市長は、「報酬審議会の答申を受けたので、3月定例会市議会に特別職の給与・報酬の改定を提案したい」と表明しました。

答申では、上記表の通り、いずれも大幅な値上げです。値上の理由では、「財政状況は厳しい」としながら、一方で、市長や議員などの果たす役割からみて、「増額が妥当」としています。しかし、今日の市民生活の実態や市財政からみて、あまりにもかけ離れた値上げです。

このように報酬値上げと平行して「議員定数削減」が議論されています。豊政会(保守・自民党派)は、ネットワーク野洲の削減案には否定的ですが、定数削減自体は「必要」の立場です。

いま大事なことは、『報酬引き上げ=定数削減』でなく、市民の付託に応える議会と議員活動です。

# 9万円アップの35万円(月額)に

## やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2006年1月22日

暮らしの相談、ご要望を  
お気軽にお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話)589-4971

野並享子 北野117-10 (電話)587-0985